

## 岡山醫學會彙報

### 岡山醫學會通常會

岡山醫學會通常會は本月二十日午後一時より岡山醫大各教室集談會及び岡山醫大「レントゲン」會の創立會と合同し同大學附屬醫院南臨牀講義室に於て開會せり田村庶務主幹開會を報し直ちに左の講演に移る

第一席 腋窩に發生せる淋巴管腫 附標本供覽

第一外科教室 菅野大作君

第二席 新に購入せる深部治療機

「ネोजンメトリー」の説明及び供覽

「レントゲン」教室 武田俊光君

放射線療法の進歩につれて治療専用の高壓發生装置表れたり

「ネोजンメトリー」機は治療専用の機械にして水銀瓦斯斷續器を用ひて二箇の同價の感應「コイル」に斷續電流を通じ最高二十八萬「ボルト」を發生せしむ

逆電流は蓄電器、斷續器の裝置、抑制管、抵抗用「カーボン」棒等にて完全に除去され、抑制管を兩「コイル」間に挿入したれば振動電流の球管に傳はる事なく極めて急峻なる脈動性直流を球管に通せしむ装置なり。(自抄)

第三席 「レントゲン」深部療法實施の要點

産婦人科教室 醫學博士 安藤晝一君

第四席 腹水中に證明する所謂印付指環細胞に就きて

第一内科教室 戸田勇一君

スターデルマンは印付指環細胞 Siegelringzellen を滲出液中に見る時は癌性疾患の診斷に對して有意義なりとし他の學者は該細胞を内被細胞癌腫の滲出液中に發見せり、而して該細胞は癌細胞より變生によりて生ずるものとせられたり。しかし此の細胞の存在が果して癌性疾患の診斷に對して價值あるか否かはまだ決定せられざるが如し。尙ほ内科領域にありては該細胞の報告例は多からず、余は最近一例の膽道附近の癌性腫瘍二例の肝硬變症患者の腹水中に此の印環細胞と思はるるものを見たるが故に該細胞は腹水中には恐らく屢々存在するもの

にして恐らく癌細胞のみに限らず其の他細胞殊に上皮細胞、白血球のある種類よりも多分粘液様變生によりて生ずるものならん。(自抄)

第五席 染尿膀胱検査用「インヂゴカルミン」に就て

産婦人科教室 醫學博士 安 藤 晝 一 君

第六席 予の考案せる「エンドスコープ」用交流變壓器

産婦人科教室 醫學博士 安 藤 晝 一 君

右終りて午後五時閉會す